

タイトル	中世西大寺流関係文献目録稿（続々）
著者	追塩，千尋； OISHIO, Chihiro
引用	北海学園大学人文論集(49)： 215-239
発行日	2011-07-30

中世西大寺流関係文献目録稿（続々）

追 塩 千 尋

はじめに

本目録は『人文論集』20号（2001年11月）・34号（2006年7月）掲載の目録に続く、第3回目の文献目録稿である。34号では2001年から2005年までの5年間を対象としたこともあり、本号はその後の2006年から2010年までの5年間を対象とした。ただ、その期間以外の文献も目に付いたものは補遺として収録した。また、2011年も6月頃までのものは採録するよう努めた。凡例はこれまでと同様であるので、ここでは繰り返さない。前回までと同様、歴史学関係以外の文献などは遺漏も多いと思われるので、大方のご教示を頂ければ幸いである。

今回の期間内の関係文献は前回とほぼ同様の160点ほどを数える。相変わらず西大寺流研究は活況を呈していることがうかがえる。5年間という短い期間のため、顕著な傾向というもの是指摘しにくい、感想めいたことを二・三記しておきたい。

第一は、叡尊・忍性を正面から扱った（正確には彼らを表題に掲げた）研究の減少、という傾向である。前回は全体の3割近くの文献の表題に叡尊・忍性の名が見られたが、今回はその割合が1割ほどになった。もっとも、表題に叡尊・忍性の名が掲げられていなくても各論考の中で彼らが縦横に語られている場合も多いので、叡尊・忍性研究の減少は見かけ上のことだけなのかもしれない。もっとも、忍性については社会福祉的視点から、その慈善救済事業に関心が継続して寄せられていることが看取される。ともあれ、少し長いスパンで眺めた場合、1970年代半ば以降活発化した叡尊・忍性研究は、2000年に入る頃に一段落したことを示すと考えられる。それ

は叡尊・忍性研究の意義の後退や、彼らをめぐる課題とその解明に一定のめどがつけられたことを意味するわけではない。すなわち、西大寺流の社会的広がりや、中世宗教に占める位置に研究者の関心が寄せられていったことと関係する。

それは第二の傾向とも関わる。西大寺流の教団としての地域的広がり、叡尊・忍性没後の西大寺流の動向への関心、西大寺教団が率いた職能集団の造形活動、西大寺以外の律僧の活動（東大寺戒壇院流，泉涌寺流など），西大寺流を含む南都仏教の意義を広い視野で積極的に位置づけようとする論議の活発化，などの動向が一段と進んだことと関係していると思われる。そうした傾向は1970年代半ば頃から叡尊・忍性研究が活発化して以降，10年ほど経過した1980年代後半以降に顕著になるが，それが2000年代に入っても引き続き進行し，対象の拡大と研究が深化していることのあらわれといえよう。

この第二の動向の顕著さは，西大寺流研究に歴史学以外の諸分野の学問が参加するという学際的性格が一層強まっていることが一つの特色である。『文学』11の6の特集「南都の文学」（2010年）はその意味でも注目されよう。かつて黒田俊雄は1976年度の中世の思想・宗教研究の動向を回顧する中で，叡尊研究の活発化の状況を指摘しながらも，「鎌倉後期の時代的特質との関連をさらに多面的にとらえる」ことの必要性を今後の課題とした（『史学雑誌』86-5，1977年5月）。その課題が近年豊に実を結び成果が積み重ねられている，といえるのかもしれない。

第三として，第二の傾向を推進している中堅・若手の研究者の成果が研究書としてこの間に次々とまとめられ始めたことである。仏教美術史の内田啓一（2010，2011）・内藤栄（2010），歴史考古学の山川均（2006，2008），律宗研究の大塚紀弘（2009）・船田淳一（2011）らの著作にそのことが看取されよう。西大寺流の取り上げ方は著者により濃淡があるが，必ずしも主題にはなっていない点で共通している。また，上島の大著（2010）も西大寺流にはほとんど触れられていないが，仏教の中世的特質，南都仏教における中世とは何か，という問を改めて考えさせられる書である。

中堅・若手の研究活動が顕著であるとはいえ、西大寺流・律宗研究の開拓者ともいえる松尾剛次（2010）・細川涼一らも継続して研究を牽引している。細川の『関東往還記』（2011）の注釈は今後の研究に益するところが大きい、未刊の『感身学正記』後半部の早期刊行を期待したい。なお、『関東往還記』注釈が叡尊による関東下向（1262年）の750年を記念した刊行であるのなら、ここ5・6年の間に研究の更なる活発化が期待されそうな画期をいくつか迎えることになる。すなわち、光明真言会開始（1264年）および忍性の極楽寺住持（1267年）より750年、忍性生誕（1217年）800年などである。いずれも「西大寺流と東国」というテーマで括れる関連性を有している。こうした画期設定はその「画期性」の可否は別として、研究者結集のための一つの「口実」としては説得的ではある。

西大寺関係史料に関して、著名な割りにその全文が示されることが極めて稀であった忍性の「十種大願」が宮城洋一郎により全文翻刻されたことは喜ばしい（2010）。ただ、宮城はそこでは触れてはいないが管見では、十種大願の原文が全文示された嚆矢は1940年の高橋梵仙によるもので（同『日本慈善救済史之研究』第三分冊）、読み下しにして全文を示したのは大戸安弘（同『日本中世教育史の研究』1998年）であったことを付記しておく。また、David Quinter による『般若寺文殊縁起』と『般若寺文殊菩薩像造立願文』の詳細な注付きの英訳（2007）は、英文ながら両史料の活用際に際して有益である。

第一で指摘した傾向は、第二のこととも関わって今後も継続することが予想される。そうすると、「叡尊・忍性・西大寺」を基本的なキーワードとして関係文献を探索・収集する、という方法は一定の限界が生じることになろう。探索の困難さが増し、関係文献の遺漏が多くなることが予想されるからである。目録の更なる充実化のためには、別な視点からの効果的な方法を見出す必要も感じているところである。

1, 単行本・雑誌特集

補遺

- 『淡交』522号「特集 叡尊上人と茶」 1989
関係口絵9頁分
永島福太郎 「南都西大寺中興叡尊上人」
石田雅彦 「叡尊上人鎌倉下向と忍性上人の茶徳」
永井宗圭 「闘茶と茶カブキ」
奈良県立同和問題関係史料センター編『奈良の被差別民衆史』 奈良県教育委員会 2001
週刊古寺をゆく『浄土寺・西大寺と山陽路の名刹』 小学館 2002
石田雅彦 『「茶の湯」前史の研究』 雄山閣出版 2003
第6章第2節「鎌倉時代中期茶の展開」
西大寺編 『宗祖興正菩薩叡尊上人御誕生八百年慶讃記念講座講演集』 西大寺 2004
谷口光明 「興法利生」
寺林 峻 「愛と救済の先覚者 叡尊と忍性」
辻村泰範 「文殊信仰と福祉活動」
根立研介 「愛染明王の造形——西大寺像を中心に——」
内藤 栄 「興正菩薩の舍利信仰と美術」
佐伯江南斉 「仏教心と茶の湯」
佐伯快勝 「興正菩薩とその生涯」
小平隆志 『忍性再考——仏教福祉の視点から』 自費出版 2005
はじめに
第一章 過去の忍性研究
第二章 忍性伝（其の一）南都における忍性
第一節 誕生から竹林寺まで
第一項 誕生の地／第二項 信貴山／第三項 額安寺／第四項 安倍寺／第五項 竹林寺／地図（一）、地図（二）
第二節 西大寺時代

第一項 叡尊との出会い／第二項 癪者救済／第三項 律宗僧忍性／第四項 大規模な救済事業／第五項 学問について
第三章 忍性伝（其の二）関東下向後の忍性

第一節 関東下向

第一項 春日社と鹿島社／第二項 三村寺での活躍

第二節 鎌倉進出

第一項 鎌倉進出とさまざまな活躍／第二項 叡尊の関東下向／第三項 極楽寺移住／地図（三）鎌倉遺跡地図／第四項 十種誓願／第五項 その後の活躍

第四章 思想の形成

第一節 忍性における文殊信仰

第二節 叡尊と文殊信仰

第三節 叡尊と忍性

第四節 日蓮と忍性

第五節 忍性が到達したものは何だったのか

第一項 忍性にとっての極楽寺とは 絵図（四）極楽寺境内往古図／

第二項 忍性が到達したもの

おわりに

あとがき

年表 — 忍性が活躍した時代

阪本敏行 『熊野三山と熊野別当』 清文堂出版 2005

第1部特論「熊野三山大仏師良円と西大寺教団の動向」

2006 年以降

金田元成 『金田元成和尚著作集』 西大寺編 東方出版 2006

教学編

戒律管見／戒律の講習 要旨の筆記／真言律入門／真言律宗について／真言律の意義／興正菩薩の信仰を知る文証／私の『真言律の意義』に対する奥義に答う／菩提心に就いて 心識・種子・熏習等

法流編

四度加行伝授に就いて／西大寺許可並伝法灌頂教授用心／菩薩流聖教
目録／西大寺菩薩流伝授記／冥授三昧耶戒灌頂印言口決略解／双円性
海の秘奥略解

雲伝神道編

雲伝神道伝授／金田元成和尚年譜／金田元成和尚著作一覧

永井 晋 『金沢北条氏の研究』 八木書店 2006

中尾良蔵 『改訂増補竹林寺の歴史：行基・忍性・円照たち』 竹林寺／律宗
戒学院 2006

松尾剛次編著 『思想の身体 戒の巻』 春秋社 2006

〈関係分〉

第一章 〈戒〉と日本仏教 ― 破戒と持戒のはざままで (松尾剛次)

対 論 日本人にとって〈戒〉とは何か (末本文美士・松尾剛次)

峰岸純夫 『中世東国の荘園公領と宗教』 吉川弘文館 2006

第一章の三「持犯文集紙背文書と極楽寺」(1984年初出)

山川 均 『石造物が語る中世職能集団』 山川出版社 2006

大林潤・渡辺晃宏・今井晃樹 「遺跡報告 西大寺食堂院の発掘調査」『日
本考古学』24 2007

戒律文化 第5号 2007

高橋秀栄 「泉涌寺出身の律僧たち ― 金沢文庫の聖教を手がかりに
―」

大塚紀弘 「中世社会における持斎の受容」

落合義明 「中世鎌倉名越の律宗寺院 ― 東栄寺を中心として ―」

内田啓一 「奈良国立博物館蔵神泉苑請雨経法道場図について」

道津綾乃 「湛睿筆『破僧違諫戒勘文』に関する一考察」

松尾剛次 「京都東山太子堂考」

金沢文庫編 『学僧 湛睿の軌跡』 金沢文庫 2007

狭川真一編 『墓と葬送の中世』 高志書院 2007

佐藤亜聖 「中世的石塔の成立と定着」

桃先祐輔 「高僧の墓所と石塔」

週刊仏教新発見. 23 西大寺 — 西の大寺の巨大伽藍はなぜ残らなかったのか — 朝日新聞社 2007

〈関係分〉

松尾剛次 「古の大寺を衰退から救った「釈迦にかえれ」の教え」

山本 勉 「善派仏師の穏やかな作風」

内藤 栄 「釈迦のためだけではなかった舍利容器」

佐伯俊源 「真言律宗とは 叡尊に源流する「真言律」」

松尾剛次 「名僧列伝 叡尊／忍性 慈悲の心で他人を救済した菩薩僧」

ゆかりの寺 「称名寺（西岡芳文）」「法華寺・浄住寺・般若寺（松尾剛次）」

谷 晃 『茶人たちの日本文化史』 講談社現代新書 2007
第1章の3 「大茶盛 — 叡尊思円 —」

戒律文化 第6号 2008

松尾剛次 「叡尊教団と中世都市平安京 — 中世平安京の境界に立つ律寺 —」

浅湫 毅 「金戒光明寺の文殊菩薩騎獅像および眷属像について」

近本謙介 「貞慶の唱導と関東 — 東大寺図書館蔵『如意鈔』をめぐる —」

大江綾子 「鎌倉時代における律宗とその受容層について — 「西大寺塔僧房通別三宝料田畠目録」から —」

佐伯龍幸 「叡尊上人と華道松月道古流」

神奈川地域史研究 26 2008

〈シンポジウム「再考：上行寺東遺跡と中世の六浦」〉

シンポジウム趣旨

橋口定志 「上行寺東遺跡の再検討・序説 — 上段平場検出遺跡の見直しから」

馬淵和雄 「上行寺東遺跡やぐら群の成立と展開」

西岡芳文 「中世の六浦と上行寺東遺跡」

小林義典 「上行寺東やぐら群遺跡の発掘調査」

藤原良章 「シンポジウム参加記」

- 宮瀧交二 「シンポジウム関連・史窓 赤星直忠先生からのお手紙」
茶道資料館編 『鎌倉時代の喫茶文化』 茶道資料館編 2008
〈関係分〉
羽田 聡 「中世の寺院と茶とのかかわり」
福島金治 「鎌倉後期の鎌倉・京都の交流——金沢文庫文書を通して——」
堤 勝義 『中世瀬戸内海の仏教史』 溪水社 2008
松尾剛次 『破戒と男色の仏教史』 平凡社 2008
第一章 持戒をめざした古代
第二章 破戒と男色の中世
第三章 破戒と持戒のはざままで
第四章 近世以後の戒律復興
山川 均 『中世石造物の研究——石工・民衆・聖——』 日本史史料研究会 2008
序 章 —— 東大寺焼亡 ——
第一章 宋人石工
第二章 石造宝篋印塔の起源について
第三章 伊派と大蔵派
第四章 初期宝篋印塔の造立とその背景
第五章 石造物造立と民衆
第六章 中世都市奈良・信仰と埋葬の位相
第七章 中世の開発と石工
第八章 大蔵安氏と大蔵定安
上横手雅敬 『権力と仏教の中世史』 法蔵館 2009
〈関係分〉
第二章第二節「鎌倉大仏の造立」(1992年)
第二章第三節「鎌倉大仏再論」(原題「鎌倉大仏について」, 2006年)
第二章第四節「紀伊の律寺」(1985年)
大塚紀弘 『中世禅律仏教論』 山川出版社 2009

問題の所在と本著の構成

第1部 顕密仏教と禅律仏教——宗派と三学

第1章中世「禅律」仏教と「禅教律」十宗観

第2章中世仏教における「宗」と三学

第2部 律家の成立史——律法興行と持斎

第3章律法興行と律家の成立——衣食改革を中心に

第4章中世社会における持斎の受容

第3部 三鈷寺流の成立史——教院興行と南宋教院

第5章鎌倉前期の入宋僧と南宋教院

第6章三鈷寺流による教院興行の思想

第7章教院興行と三鈷寺流の成立——康空から仁空・照源へ

終章本著の総括と展望

戒律文化 第7号

2009

釈 龍雄 「開山俊苾律師の理念」

西谷 功 「泉涌寺創建と仏牙舍利」

山川 均 「泉涌寺開山無縫塔について」

衰輪顕量 「北京律と南都律の相違と宋代仏教——自誓・通受と止観の視点から——」

細川涼一 「叡尊の鎌倉下向と鎌倉幕府の女性」

渡邊恭章 「泉涌寺の法式」

玉田奈都美 「後水尾院が帰依した寺院と僧侶」

金沢文庫編 『〈企画展示図録〉中世の港湾都市六浦』 金沢文庫

2009

総論 中世六浦の世界

第1部 中世六浦の勃興

第2部 六浦の海と橋

第3部 六浦の湊と船

第4部 六浦庄の特産品

第5部 ミナトに住む人々

資料解説／六浦のミナト関係年表／主要参考文献

金沢文庫編 『〈特別展図録〉 称名寺の庭園と伽藍』 金沢文庫 2009

喜田信子編 『釈尊が仰せになりました 額安寺住職喜田寿佳遺稿集』 青垣出版 2009

左野勝司 『石ひとすじ ― 歴史の石を動かす ―』 学生社 2009

〈関係分〉

3 忍性の墓・行基の墓と竹林寺

藤田裕嗣 『莊園絵図が語る古代・中世〈日本史リブレット76〉』 山川出版社 2009

1 莊園絵図と歴史地理学

2 西大寺絵図群における古代・中世

3 古代の京北班田図と中世の編集

4 中世の相論絵図に描かれた地域

上島 享 『日本中世社会の形成と王権』 名古屋大学出版会 2010

(関係分)

第2部 中世王権と宗教

第2章 中世国家と仏教

第5章 中世神話の創造 ― 長谷寺縁起と南都世界 ―

内田啓一 『後醍醐天皇と密教』 法蔵館 2010

特に第2章 後醍醐天皇と文観房弘真

大矢實圓, 道浦母都子 『西大寺〈新版古寺巡礼奈良第4巻〉』 淡交社 2010

(関係分)

高野 澄 「西大寺の歴史 ― 聖武天皇が娘阿倍内親王に懸けた夢」

井上一稔 「慈父の造形 ― 西大寺釈迦如来立像」

石川登志雄 「経を籠めて、願いを込める」

内藤 栄 『舍利莊嚴美術の研究』 青史出版 2010

第2部 叡尊の舍利信仰と宝珠法の美術

1 密観宝珠形舍利容器について

2 西大寺鉄塔と小野三流の舍利法に関する遺品について

3 西大寺金銅宝塔について

4 如法愛染法と如法尊勝法の美術

末木文美士他編 『新アジア仏教史』12 日本Ⅱ 佼成出版社 2010

第3章「仏教者の社会活動」（松尾剛次執筆）

文学11の6（特集南都の文学） 2010

〈関係分〉

座談会 「南都の文学」 近本謙介・村尾誠一・平野多恵・高橋悠介・司
会松岡心平

松岡心平 「南都律宗と能(その一)——『志度寺縁起』の律宗性と能「海
人」

安田次郎 「室町殿の南都下向」

久保田淳 「『檜葉和歌集』の歌人群像一斑」

近本謙介 「南都復興の継承と展開——慶政の勸進をめぐる二つの霊
託——」

村尾誠一 「南都復興と和歌」

平野多恵 「『檜葉和歌集』〈童編〉を読む——南都の稚児と僧の歌——」

高橋悠介 「光明山での山王託宣譚と南都——神宮文庫本『発心集』第
三十六話をめぐって——」

松尾恒一 「南都寺院における“走り”の呪法と芸能、その展開」

横内裕人 「東アジアのなかの南都仏教——日本仏教の中の肥沃の大地——」

藤岡 譲 「聖徳太子像の成立——四天王寺聖霊院像を基点とする太子像の史的
理解のために——」

塩澤寛樹 『鎌倉大仏の謎』 吉川弘文館 2010

林 温 『鎌倉仏教絵画考——仏画における「鎌倉派」の成立と展開——』 中央公論美術出版 2010

〈関係第2章のみ細目記す〉

序論 鎌倉時代前期における鎌倉地方の絵画状況

第1章 建長寺・円覚寺をめぐる禅宗系仏画

第2章 称名寺・極楽寺をめぐる真言律宗（西大寺）系仏画

第1節 称名寺金堂仏後壁弥勒来迎図及び弥勒浄土図と同寺の仏画
遺品（仏涅槃図，十二神将など）

第2節 薬王寺蔵弥勒菩薩来迎像

第3節 金剛寺蔵如意輪観音像

第4節 松尾寺蔵如意輪観音像

第3章 鎌倉派仏画の探求

結語

付論 建長寺蔵水月観音像

松尾剛次 『中世律宗と死の文化』 吉川弘文館 2010

序にかえて／第一部叡尊教団と死の文化（中世における死と仏教——官僧・遁世僧体制モデルの立場から〈官僧・遁世僧体制モデル／遁世僧と葬送〉以下細目略／叡尊の生涯／忍性伝の諸問題／日本民衆の生と浄土信仰——兜率天浄土と五輪塔）／第二部叡尊教団と平安京（叡尊教団と中世都市平安京／京都薬室浄住寺考／京都薬室浄住寺境内絵図の現地比定／京都東山太子堂考）／叡尊教団の地方における展開（博多大乗寺と中世都市博多／伊勢中世史像の再構築——謎の楠部大五輪と楠部弘正寺・岩田円明寺／西大寺末寺と五輪塔——伊賀地域に注目して／種子島における律宗寺院の展開——赤尾木ノ津・慈遠寺五輪塔に注目して）

伊藤 聡 『中世天照大神信仰の研究』 法蔵館 2011

（関係分）

第5部第4章「伊勢神宮における西大寺流の動向」（初出は1993年）

内田啓一 『日本仏教版画史論考』 法蔵館 2011

（関係分）

第2章密教図像の伝播と仏教版画

二 諸尊図像・陀羅尼等（九重守）について——西大寺本を中心に——

三 西大寺流にみられる一尺四方の種子曼荼羅について

第3章勧進と結縁，仏教版画

三 経典の勧進と結縁

- 追塩千尋 『中世南都仏教の展開』 吉川弘文館 2011
- 内藤 栄 『舍利と宝珠 <日本の美術 539 号>』 ぎょうせい 2011
 （関係分）
- 6，叡尊の舍利法と宝珠法の美術
- 阿部泰郎（特別寄稿）「宝珠の象る王権——文観弘真の三尊行法聖教とその図像——」
- 船田淳一 『神仏と儀礼の中世』 法蔵館 2011
 （関係分）
- 第2部第6章「南都戒律復興における受戒儀礼と春日信仰の世界」（2006年初出論文の増補・改稿）

2，雑誌等論文

補遺

- 寺田孝重 「中世大和の茶業について」『茶湯』14 1978
- 石井昭郎 「叡尊と神護山弘正寺」『伊勢郷土史草』20 1981
- 日野一郎 「中世の石大工について（含 石大工名表）」『早稲田大学大学院文学研究科紀要』28 1982
- 田辺 爵 「金沢文庫本「関東往還記」——長母寺と山田氏について——」『もりやま』5 1986
- 永島福太郎 「叡尊上人の茶徳」同氏『利休の茶湯大成』所収 淡交社 1993
- 寺田孝重 「奈良県における茶業発達過程の研究」『奈良県農業試験場研究報告』通号特別報告 1995
- 竹下正博 「肥前東妙寺の釈迦像」『デアルテ』13 1997
- 納富常天 「久米多寺盛誉について」鎌田茂雄博士古稀記念会編『華嚴学論集』所収，大蔵出版 1997
- 小木曾千代子 「恵鎮（円観）上人年譜稿」長谷川瑞他編『太平記の成立<軍記文学研究叢書8>』所収，汲古書院 1998
- 中原祥徳 「伊勢神宮御正躰厨子——仏眼と愛染の配当形態について——」

- 『印度学仏教学研究』46-2 1998
- 沈 仁慈 「鎌倉時代における戒律復興運動の二形態——戒律制度を中心として——」『韓国仏教学 SEMINAR』7 1998
- 藤井直正 「河内教興寺と浄厳和尚」『大手前女子大学論集』32 1998
- 村磯栄俊 「「真言密教の現代化」をめぐる——歴史の視点から——」『現代密教』10 1998
- 蔵 由美 「おしどり伝説と「嵯峨野の釈尊」を追って」『史談八千代』23 1998
- 青木啓明 「播磨国在田荘の支配をめぐる」佐藤和彦先生退官記念論文集
刊行委員会編『相克の中世』所収, 東京堂出版 2000
- 川岸宏教 「中世初期の四天王寺」『IBU 四天王寺国際仏教大学紀要』文学
部 32 号・短期大学部 40 号 2000
- 福島金治 「金沢称名寺と伊勢・鎮西——伊勢国高角大日寺をめぐる——」清水真澄編『美術史論叢 造形と文化』所収, 雄山閣出版 2000
- 奥本武裕 「北山非人・横行・細工——登場する被差別民——」奈良県立同
和問題関係史料センター『事業ニュース』7 2001
- 川岸宏教 「中世後期の四天王寺——諸寺院との関わりを中心として——」
『IBU 四天王寺国際仏教大学紀要』文学部 33 号・短期大学部 41 号 2001
- 山口興順 「京都八幡善法律寺について——とくに天台との交渉を中心と
して——」『天台学報』43 2001
- 吉田栄治郎 「額安寺境内景観の変遷について——明治期の調査資料を中
心に——」『国立歴史民俗博物館研究報告』88 2001
- 伊藤 聡 「日本中世における太陽信仰」松村一男・渡辺和子編『太陽神
の研究』上巻所収, リトン 2002
- 大脇 潔 「行基の墓と墓誌」摂河泉古代寺院研究会編『行基の考古学』所
収, 塙書房 2002
- 坂本亮太 「惣墓からみる中世村落」『ヒストリア』182 2002
- 佐藤昭嗣 「芸予諸島ならびに周辺地域の中世五輪塔——安芸・備後の花崗
岩製五輪塔を中心として——」『岡山商大社会総合研究所報』23 2002

- 牧野和夫 「延慶本『平家物語』における「東山鷲尾」の注釈的研究——寺院ネットワークということ——」説話と説話文学の会編『説話論集』第11集 清文堂 2002
- 蓑輪顕量 「日本人の護持した戒律」『宗教研究』333 2002
- 大谷由香 「南都仏教における戒体の研究(修士論文要旨)」『龍谷大学大学院文学研究科紀要』25 2003
- 尾崎正善 「禅宗と律宗との関係について」田中良昭博士古稀記念論集刊行会編『禅学研究の諸相』所収, 大東出版社 2003
- 坂本亮太 「相賀荘相賀大社の中世的展開」『和歌山地方史研究』45 2003
- 蓑輪顕量 「講演録 中世南都における戒律の復興」『仏教学セミナー』77 2003
- 吉田栄治郎 「救癪施設・北山十八間戸移転論の隘路をめぐって」奈良県立同和問題関係史料センター『研究紀要』9 2003
- 小平 隆 「忍性と文殊信仰の出会いに関する一試論」『立正社会福祉研究』15-2 2004
- 苅米一志 「亀谷禅尼の軌跡——下野国那須上荘横岡郷の領主——」『那須文化研究』18 2004
- 佐藤亜聖 「鹿児島県志布志町宝満寺所在元徳二年銘五輪塔について」『元興寺文化財研究』85 2004
- 寺田孝重 「奈良県における初期茶業の展開について」『奈良学研究』7 2004
- 細川涼一 「鎌倉の尼について」安西篤子監修『中世の鎌倉を語る』所収, 平凡社 2004
- 宮城洋一郎 「般若寺文殊菩薩像造立供養願文について」頼富本宏編『聖なるものの形と場』所収, 法蔵館 2004
- 小野澤眞 「中世宗教都市鎌倉形成の過程——寺社の分身を中心にみる」『印度学仏教学研究』53-2 2005
- 宮前千雅子 「前近代における癪者の存在形態について（上）（下）」『部落解放研究』166・167 2005

2006 年以降

- 伊藤 聡 「『沙石集』と中世神道説 ― 冒頭話「太神宮御事」を巡って ―」
『説話文学研究』35 2006
- 井野上真弓 「東寺長者と文観」速水侑編『日本社会における仏と神』所収,
吉川弘文館 2006
- 牛山佳幸 「モンゴル襲来前後の時期における地域社会と仏教 ― 善光寺
信仰および信濃国関係の事例を中心として ―」『仏教史学研究』49-1
2006
- 追塩千尋 「凝然の宗教活動について ― 凝然像の再検討 ―」北海学園大
学『人文論集』35 2006
- 追塩千尋 『中世南都仏教の展開』収録, 2011 年, 吉川弘文館
- 大石雅章 「中世寺院組織について ― 寺僧・律衆を中心に ―」『龍谷史
壇』124 2006
- 大塚紀弘 「中世都市京都の律家」『寺院史研究』10 2006
- 落合義明 「都市鎌倉の寺社修造事業」速水侑編『日本社会における仏と神』
所収, 吉川弘文館 2006
- 苅米一志 「中世前期における地域社会と宗教秩序」『歴史学研究』820
2006
- 佐伯俊源 「西大寺の光明真言会」『近畿文化』683 2006
- 佐藤亜聖 「石塔の成立と拡散」小野正敏・萩原三雄編『鎌倉時代の考古学』
所収, 高志書院 2006
- 神野英明 「小平隆志著『忍性再考 ― 仏教福祉の視点から』, 自費出版,
2005 年, A 5 版, 174 頁」群馬松嶺福祉短大紀要『福祉と人間科学』7
2006
- 近本謙介 「『春日権現験記絵』成立と解脱房貞慶」『中世文学』43 2006
- 平野多恵 「『沙石集』明恵関連説話の情報源 ― 巻1「慈悲と智とある人
を神明も貴び給事」をめぐって ―」小島孝之編『説話の界域』所収, 笠
間書院 2006
- 同氏 『明恵 ― 和歌と仏教の相克 ―』所収, 2011 年, 笠間書院

- 広瀬季一郎 「三村山極楽寺跡遺跡群（茨城県つくば市）—— 忍性による東
国布教の拠点 ——」『月刊文化財』518 2006
- 福島金治 「六浦湊の景観復元と金沢称名寺」小野正敏・萩原三雄編『鎌倉
時代の考古学』所収，高志書院 2006
- 藤谷厚生 「『三国毘尼伝』にみる近世真言律の特徴について」『印度学仏教
学研究』54-2 2006
- 船田淳一 「中世の南都と叡山における戒律観について」『日本宗教文化史
研究』10-2 2006
- 同氏 『神仏と儀礼の中世』所収，2011 年，法蔵館
- 細川涼一 「中世唐招提寺の復興と覚盛・慶円」唐招提寺金堂平成大修理記
念『国宝鑑真和上展』所収，TBS 2006
- 前谷 彰 「忍性律師の慈善事業観（慈悲）」『日本仏教学会年報』72 2006
- 蓑輪顕量 「中世南都における三学の復興」『仏教学』48 2006
- 蓑輪顕量 「中世南都の仏教者に見る禅定」望月海淑編『法華経と大乘經典
の研究』所収，山喜房仏書林 2006
- 村山修一 「大神神社と平等寺・大御輪寺」同氏『神仏習合の聖地』所収，
法蔵館 2006
- 吉田栄治郎 「有馬温泉の「癪」者・坂・夙」奈良県立同和問題関係史料セ
ンター『regional』1 2006
- 吉田栄治郎 「救癪施設・北山十八間戸最後の住人」奈良県立同和問題関係
史料センター『regional』3 2006
- 吉田栄治郎 「薬師寺西郊の夙村と救癪施設・西山光明院」奈良県立同和問
題関係史料センター『regional』4 2006
- 内田啓一 「長谷寺式十一面観音菩薩画像について —— 能満院本十一面観
音菩薩画像を中心に ——」『仏教芸術』294 2007
- 内田啓一 「中世に開板された版画の板木」昭和女子大学『文化史研究』
11 2007
- 追塩千尋 「円照の勧進活動と浄土教・密教」北海学園大学大学院文学研究
科『年報新人文』4 2007

- 追塩千尋 『中世南都仏教の展開』収録, 2011年, 吉川弘文館
- 朽津信明 「茨城県つくば市周辺の中世石造美術の硬さについて」『考古学と自然科学』56 2007
- 朽津信明 「顔料が語る中世筑波の文化交流」市村高男監修『中世東国の内海世界——霞ヶ浦・筑波山・利根川——』所収 高志書院 2007
- 高橋裕美子 「鎌倉末期の律僧と架橋事業——近江国杣川橋料所関を事例に——」『早稲田大学大学院研究科紀要』第4分冊52輯 2007
- 立花弥生 「忍性骨蔵器三ヶ寺埋納の思想背景に関する一考察」『民俗学論叢』22 2007
- David Quinter 「creating Bodhisattvas——Eison, *Hinin*, and the “Living Manjusri”」『モニュメント・ニッポニカ』62-4 2007
- 西口順子 「中世大和の女性と仏教」奈良県立同和問題関係史料センター『研究紀要』13 2007
- 細川涼一 「中世における戦争と平和——蒙古襲来における叡尊と南北朝の内乱における楠木正儀——」『歴史評論』688 2007
- 牧野和夫 「“奈良絵本”という「ことば」の定着の背景とその周辺——明治三十年代中後期頃の奈良扇への関心をめぐる「集古会」周辺資料一, 二と「南都の絵」資料一点」『実践国文学』71 2007
- 松尾剛次 「葉室浄住寺考」『山形大学歴史・地理・人類学論集』8 2007
- 桃崎祐輔 「中世霞ヶ浦沿岸における律宗の活動」市村高男監修『中世東国の内海世界——霞ヶ浦・筑波山・利根川——』所収 高志書院 2007
- 吉田 唯 「無住『沙石集』における習合思想の一過程——真言の「両界」と「両宮」について」龍谷大学『國文學論叢』52 2007
- 渡辺晃宏 「奈良・西大寺食堂院跡(二〇〇六年出土の木簡)」『木簡研究』29 2007
- 阿部泰郎 「中世宗教テキストの世界像」『日本文学』661 2008
- 稲葉伸道 「鎌倉後期の東大寺戒壇院とその周辺」『ザ・グレイトブッダ・シンポジウム論集』6 2008
- 大谷由香 「南北朝期における律宗義について：附・清算撰『靈峰記』前半

- 部分翻刻」『仏教学研究』64 2008
- 佐々木弘美 「熊野と律僧と市女笠：一遍聖絵を読む」神奈川大学 21 世紀
COE プログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進
会議編『非文字資料研究の可能性』所収 2008
- 佐藤鉄太郎 「称名寺と極楽寺——称名寺とその博多に於ける殺生禁断管
理権」『中村学園大学・中村学園大学短期大学部研究紀要』40 2008
- 佐藤鉄太郎 「大乘寺と鎮西探題金沢実政」『中村学園大学・中村学園大学
短期大学部研究紀要』40 2008
- 橘 信雄 「奈良・京都方面戒律関係寺社調査報告」『真言宗豊山派総合研
究院紀要』13 2008
- 千葉隆司 「筑波山周辺の石材加工の歴史」『地質ニュース』643 2008
- David Quinter 「Emulation and Erasure: Eison, Ninsho, and the Gyoki
Cult」『The Eastern Buddhist』39-1 2008
- 長崎陽子 「理想としての救済——鎌倉期における非人（病者）救済をめ
ぐって——」『行信学報』21 2008
- 長谷洋一 「「仏造之層」と室町時代彫刻——奈良・般若寺十一面観音像を
手がかりに——」『美学』59-2 2008
- 細川涼一 「中世都市鎌倉の福祉」『日本史の研究』222 2008
- 前田治幸 「高野山町石にみる石造物の紀年銘」『ぶい&ぶい』4 2008
- 松尾剛次 「新発見の五点の中世浄住寺文書——中世安堵制に関する一考
察」『山形大学歴史・地理・人類学論集』9 2008
- 松尾剛次 「The Life of Eizon」（同氏編『叡尊・忍性〈日本の名僧10〉』
2004 年，吉川弘文館，所載「叡尊の生涯」の英訳，訳者 Ugo Dessi）『The
Eastern Buddhist』vol 39 No 2 2008
- 馬淵和雄 「上行寺東遺跡やぐら群の成立と展開」『神奈川地域史研究』
26 2008
- 吉田 唯 「『愛染王紹隆記』考——作者と成立背景について」『龍谷大学大
学院文学研究科紀要』30 2008
- 市田進一・篠原良吉・松永修輔 「「大工伊行元」銘を刻む石造宝塔」『歴史

- 考古学』61 2009
- 阿部泰郎 「文観著作聖教の再発見——三尊合行法のテキスト布置とその位相——」名古屋大学文学研究科『比較人文学研究年報』6 2009
- 内田啓一 「西大寺叡尊と弥勒来迎図 東京芸術大学美術館本を中心に」『仏教芸術』302 2009
- 追塩千尋 「古代・中世の家原寺について」北海学園大学人文学部『人文論集』42 2009
- 追塩千尋 『中世南都仏教の展開』収録, 2011年, 吉川弘文館
- 大塚紀弘 「中世律家の地方展開1——失われた律院を訪ねて1——」『寺社と民衆』5 2009
- 小木曾千代子 「「嵯峨遮那院」について——恵鎮(円観)上人年譜稿訂正——」『汲古』56 2009
- 佐伯俊源 「南都西大寺所蔵の宋・元版の中国版経とその周辺」『アジア遊学』122 2009
- 狭川真一 「近畿の中世石塔」狭川真一編『日本の中世墓』所収, 高志書院 2009
- 佐藤垂聖 「中世石造物の普及をささえた技術」『歴博』155 2009
- 高橋聡子 「中世に生まれた地名——西大寺領丹後国志楽庄の中で——」京都地名研究会『地名探究』7 2009
- 永井 晋 「中世東国の律院の茶——称名寺とその寺領・末寺を通じてみた鎌倉の茶——」『鎌倉』107 2009
- 西谷 功 「泉涌寺開山への諸相」『寺社と民衆』5 2009
- 日高洋子 「忍性と福祉の領域に関する一考察」『埼玉学園大学紀要, 人間学部篇』9 2009
- 藤原重雄 「都市の信仰——像内納入品にみる奈良の年中行事——」高橋慎一郎・千葉敏之編『中世の都市——史料の魅力, 日本とヨーロッパ——』所収, 東京大学出版会 2009
- 細川涼一 「鎌倉時代の律宗と南宋」『アジア遊学』122 2009
- 松尾剛次 「日本中世律宗の展開: 伊勢弘正寺・円明寺を中心に」『宗教研

- 究』82-4 2009
- 松尾剛次・阿子島功 「京都洛西山田浄住寺境内絵図の現地比定について」
『山形大学歴史・地理・人類学論集』10 2009
- 松尾剛次 「新たな伊勢中世史像の再構築——謎の楠部大五輪と楠部弘
正寺・岩田円明寺」『皇学館史学』24 2009
- 三浦日脩 「日蓮聖人と極楽寺良観房忍性」『桂林学叢』21 2009
- 山川 均 「般若寺層塔」（連載歴史的石造物を訪ねて第三回——観察・鑑
賞のポイント手引き——）『月刊石材』342 2009
- 吉田 唯 「重源と叡尊・忍性を繋ぐ思想についての一考察(1)『南無阿弥陀
仏作善集』に記された二つの夢想と新大仏寺という空間」『古典文藝論叢』
(1) 2009
- 赤田光男 「南都寺院の仏舎利相伝」帝塚山大学『日本文化史研究』41
2010
- 赤田光男 「中世後期南都の舎利信仰」『帝塚山大学人文学部紀要』27
2010
- 大谷由香 「南北朝期における律宗義について（中）：附・清算撰『靈峰記』
後半部分（一）翻刻」『仏教学研究』66 2010
- 大塚紀弘 「一遍墓塔造立考——時衆・律僧と兵庫津——」『おい&おい』
14 2010
- 苅米一志 「備前西大寺の古層」『日本歴史』746 2010
- 川原英照 「叡尊・忍性に学ぶ僧侶としての生き方」『春秋』524 2010
- 熊谷保孝 「多田院から多田神社へ」『摂播歴史研究』51 2010
- 清野 愛 「関東における忍性教団の慈善救済活動」『千葉・関東地域社会
福祉史研究』35 2010
- 館野和己 「西大寺領越前国赤江庄の復元——西大寺食堂院跡出土木簡を
めぐって」『福井県文書館研究紀要』7 2010
- 近本謙介 「解脱房貞慶の唱導の多面性と意義——今津文庫所蔵『解脱上人
御草』所収「南京北山宿非人等敬白」をめぐって」『説話文学研究』45
2010

- 塚本優子・河野良雄・佐々木慎太郎他 「鎌倉仏教と医療——僧侶・忍性が救済を目指した、民衆の全人的痛み」『東洋療法学校協会学会誌』34
2010
- 津田徹英 「善光寺阿弥陀三尊像と清涼寺釈迦如来像の模刻造像の時機——その世界観「三国伝来」へのまなざし——」阿部泰郎編『中世文学と寺院資料・聖教』所収, 竹林舎
2010
- 船田淳一 「講式と儀礼の世界——八幡講式を中心に——」阿部泰郎編『中世文学と寺院資料聖教』所収, 竹林舎
2010
- 松尾剛次 「叡尊——戒の力で末世に挑み, 祈りで蒙古軍をも退けた遁世僧」『歴史読本』55(2)
2010
- 松尾剛次 「石塔の思想史——五輪塔を中心に——」『宗教研究』83(4)
2010
- 松岡久美子 「西大寺叡尊による清涼寺式釈迦如来の模造制作」『美術フォーラム21』22
2010
- 宮城洋一郎 「忍性の「十種大願」について」サムエル・C・モース／根本誠二 共編『奈良・南都仏教の伝統と革新』所収, 勉誠出版
2010
- 山川 均 「般若寺層塔について」奈良県立同和問題関係史料センター『regional』13
2010
- 山田雅教 「大谷本願寺両堂の建立地に関する一試論」『日本宗教文化史研究』14-2
2010
- 横内裕人 「久米田寺の唐人——宋人書生と真言律宗（東アジアを結ぶモノ・場）」『アジア遊学』132
2010
- アンナ・アンドレーワ 「三輪流の成立」伊藤聡編『中世神話と神祇・神道世界』所収, 竹林舎
2011
- 宇都宮啓吾 「智積院新文庫の聖教について」宇都宮啓吾研究代表科研費研究成果報告書（平成20～22年度）『智積院聖教における典籍・文書の基礎的研究』所収
2011
- 大谷由香 「南北朝期における律宗義について（下）：附・清算撰『靈峰記』後半部分（二）翻刻」『仏教学研究』67
2011

- 大谷由香 「智積院新文庫所蔵の戒律関連聖教群について」宇都宮啓吾研究
代表科研費研究成果報告書（平成 20～22 年度）『智積院聖教における典
籍・文書の基礎的研究』所収 2011
- 大塚紀弘 「日宋交流と仏牙信仰——五台山から来た仏牙舍利の行方——」
『日本歴史』758 2011
- 酒井元樹 「西大寺所蔵金銅透彫舍利容器について」『美術史』60-2 2011
- 狭川真一 「中世大和の葬送と墓制」奈良県立同和問題関係史料センター
『研究紀要』16 2011
- 細川涼一 「石清水八幡宮の柳禅尼如鏡と叡尊」『仏教史研究』47 2011
- 松尾剛次 「人はなぜ墓を建てるのか」『本郷』93 2011
- 源健一郎 「「一念弥陀仏」偈の受容層——『平家物語』が語るく法然による
重衡救済物語の位相を考えるために——」佐伯真一編『中世の軍記物語
と歴史叙述』所収、竹林舎 2011

3, 西大寺関係史資料

補遺

- 京都国立博物館編 『京都社寺調査報告 17 金戒光明寺』 1996
- 西岡芳文 「尊経閣文庫所蔵『古事雑記』について」『金沢文庫研究』299
1997
- 岸和田市立郷土資料館 『特別展図録久米田寺の歴史と美術：仏画と中世
文書を中心に』 岸和田市立郷土資料館 1999
- 加地宏江 「藤井本津守系図について」『関西学院史学』28 2001
- 大塚紀弘 「中世泉涌寺教団関係文献目録稿」『寺社と民衆』創刊号 2005

2006 年以降

- 戒律文化研究会第 5 回研究大会資料集 2006
- 金沢文庫編 『よみがえる鎌倉の学問』（「称名寺聖教」重要文化財指定記念
企画展図録） 金沢文庫 2006
- 「総説」, 4 「戒律の学問」, 5 「密教の伝授」など
- 鎌倉市教育委員会 『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書』22 第 2 分冊 2006

- 国文学研究資料館編 真福寺善本叢刊第2期第3巻 『中世先徳著作集』
臨川書店 2006
文観著 『秘密源底口決』『一ニ寸(三尊) 合行秘次第』(阿部泰郎解題)
文観著作年譜(阿部泰郎)
- 真言宗豊山派仏教青年会編 『大和長谷寺・全国長谷観音信仰』真言宗豊山
派青年会発行 2006
中世鎌倉研究会編 『中世都市鎌倉と極楽寺：シンポジウム予稿集』 2006
極楽律寺史料抄
- 松尾剛次 「西大寺光明真言過去帳の紹介と分析」速水侑編『日本社会にお
ける仏と神』所収, 吉川弘文館 2006
戒律文化研究会第6回研究大会資料集 2007
鎌倉市教育委員会 『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書』23第2分冊
2007
向坂卓也 「称名寺聖教に見る宇賀神関係資料について——翻刻と紹介」
『金沢文庫研究』318 2007
関口静雄・山本博也編著 『律苑僧宝伝<唐招提寺・律宗戒学院叢書第2輯>』
昭和女子大学近代文化研究所 2007
David Quinter 「account of the Origin of the Hannyaji Manjusri — A
Translation of *Hannyaji Monju Engi*」『モニュメンタ・ニッポニカ』
62-4 2007
David Quinter 「votive text for the Construction of the Hannyaji
Manjusri Bodhisattva Statue — A Translation of *Hannyaji Monju
Bosatsu Zo Zoryu Ganmon*」『モニュメンタ・ニッポニカ』62-4 2007
奈良文化財研究所編 『西大寺食堂院・右京北辺発掘調査報告』 2007
大和郡山教育委員会 『額安寺第5・7次(範囲確認調査)・郡山城第43次
(柳澤神社社務所建て替えに伴う調査)』 2007
大塚紀弘 「中世泉涌寺教団関係文献目録稿補遺(1)」『寺社と民衆』4
2008
戒律文化研究会第7回学術大会資料集 2008

- 牧野和夫 「随心院蔵『童子經書写供養略位法』一帖他，西大寺伝来聖教の
絵題簽紹介」『実践女子大学文学部紀要』50 2008
- 水野敬三郎他編 『日本彫刻史基礎資料集成』鎌倉時代造像銘記編第一期第
六巻 中央公論美術出版 2008
- 「西大寺釈迦如来像」・「愛染明王像」
- 戒律文化研究会第8回学術大会資料集 2009
- 高見寛恭編 『西大寺流伝授録 補闕鈔』上下 高見寛恭事相保持会 2009
- 水野敬三郎他編 『日本彫刻史基礎資料集成』鎌倉時代造像銘記編第一期第
七巻 中央公論美術出版 2009
- 「西大寺大黒天像」
- 阿部泰郎 『中世宗教テキスト体系の復元的研究——真福寺聖教典籍の再
構築——』（2007～2009年度科学研究費研究成果報告書） 2010
- 「文観弘真著作聖教資料集」
- 総本山醍醐寺編 『枝葉抄』影印・翻刻・註解 勉誠出版 2010
- （関係分）西山浄住寺仏舎利事，宇治綱代制禁
- 細川涼一訳注 『関東往還記』平凡社（東洋文庫） 2011